

平成27年度 熊本県知的障がい者施設協会 人権研修会〈開催要綱〉

「福祉のプロとして」

～自らやりがいを創る人に～

1. 趣 旨：

近年、「障害者総合支援法」「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」と、障がいのある方を取り巻く環境・法の整備は、めまぐるしいものです。権利が確立されることは、障がいのある当事者にとってはもちろん、携わる支援者にとっても喜ばしいことです。一方で、あえて法律が策定・施行されるということは、裏を返せば、かなしいかな当事者の方の権利が侵害されている実態があるということになります。身近なところでも、また自分自身でも、知らず知らずのうちに、当事者の方の権利を擁護できていないこと、認めていないこともあるかもしれません。今、自分の現場で行っていることが、時代の流れの中で求められていることなのか、真摯に見つめ直す時期だと思います。

また、一人ひとりがプロとしての自覚を持ち、相互に研鑽し、チームアプローチを行うことで、当事者の満足度も向上するのではないのでしょうか。そのことが、自ら仕事のやり甲斐を見つけ、現場をリードしていく人材になっていかれることを願って、企画いたしました。

仕事に就いて間もない方は、福祉人としての基礎を築くために、勤務年数を重ねた方は、自らの支援を振り返る機会として参加してみたいはいかがでしょうか。

是非、各施設からの積極的な参加をお願いします。

2. 主 催： 熊本県知的障がい者施設協会

3. 日 時： 平成27年6月17日（水）10：00～12：00 （受付9：30～ 10：00）

4. 会 場： 熊本市国際交流会館 6階 熊本市中央区花畑町4－18 TEL096－359－2020

5. 参 加 対 象 者： 熊本県知的障がい者施設協会会員施設職員

6. 予定参加人員：100名（先着順とさせていただきます。）

7. 参 加 費：無 料

8. 日程

受付	9:30 ~ 10:00
開会	10:00 ~ 10:15
講話	10:15 ~ 12:00
閉会・レポート（アンケート）作成	12:00 ~

9. 講演詳細について

講演

演題：「どうすれば権利擁護を担う真のプロになれるのか」	日本女子大学 教授 講師： ひさだ のりお 久田 則夫 氏
〇プロフィール 長崎県大村市生まれ。昭和60年3月、上智大学外国語学部卒業後、静岡県内の知的障害者施設に就職。平成6年3月まで、生活支援員として勤務。その間、三年間にわたり、英国国立スワンシー大学院（University of Wales, Swansea）博士課程に留学。高齢知的障害者に関する社会学的研究で、博士号（Ph D）取得。帰国後は、福祉施設職員として働く傍ら、施設付設の社会福祉研究所副所長を兼任し、研究論文や著書を発表。長崎純心大学、龍谷大学を経て、日本女子大学へ移籍し、同大学人間社会学部教授となる。 研究者としてのモットーは「現場とともに歩む」であり、研究で得た知見を現場に還元する活動に力を傾注している。 現在、福祉専門誌上にて職員としてのあり方、業務改善・マンネリ打破の具体的方法などについて連載を執筆したり、日本各地の福祉事業所を訪問しサービス向上のお手伝いをしたりするなど、東奔西走の日々を送っている。 英国、アイルランド、スペイン、ポルトガルなどの研究者および実践者とも連携し、パーソンセンタードサービス実現に向けた国際活動にも鋭意携わっている。 専門分野：利用者本位サービス論、社会福祉組織運営論 <主な著書> 『人が育つ・職場が変わる気づき力：介護・福祉の仕事にやりがいをもたらす15の改善』（単著） 日総研出版 『福祉のプロにおくる 職場の難問解決Q&A～職員必読！ これがあなたを危機から救うとっておきの秘策だ』（単著） 中央法規出版 『デキる福祉のプロになる：現状打破の仕事術』（単著）、医歯薬出版 『どうすれば福祉のプロになれるか：カベを乗り越え活路を開く仕事術』（単著） 中央法規出版 『伸びる職員実践教室：保健福祉の職場が変わる仕事術』（単著） 医歯薬出版	

○講演内容

- ★虐待ゼロを実現し、利用者本位サービス・権利擁護の推進に貢献できる職業人となるためには、どのような力をもった人財になる必要があるのか
- ★虐待ゼロの実現に必要となる力をあわせもつ職員になるために留意すべきポイント
- ★どのような権利を擁護するために働いているのか、職員として「果たすべき使命」を確認する
- ★権利侵害事件・虐待事件の事例から、今、実践者として何をすべきか、教訓を学ぶ
- ★権利侵害が発生しやすい組織の特徴
- ★権利侵害行為に手を染めやすい職員の“危うい”思考・行動パターン
- ★自分自身のなかに、不適切な業務の旗振り役になる “危うい傾向” はないか、業務レベルの低下を招く“残念”な傾向がないかチェックする